



広報ひがしかわ

No.311 61/12

■発行 東白川村 ■編集 東白川村総務課 ■〒509-13 岐阜県加茂郡東白川村神土548番地
 ■☎05747>8-3111・内線34 ■印刷 益田郡下呂町 下呂印刷有限会社

昭和五十一年六月一日指定 東白川村教育委員会



11月15日夜村民センターを発着点にウォークラリーが行われました。秋の夜長を家族で、またグループで楽しみました。

— 四つ割南無阿弥陀仏碑前で課題に挑む参加者たち —

人口の動き

—11月末全住民登録人口から—

世帯数	923世帯
人口	3,575人
転入	7人
転出	5人
出生	3人
死亡	4人

先月と比較して6人増
 昨年の同月と比較して35人減

ほ場整備の完成によりスッキリした水田
整備前と整備後（神付地内）



進む県営畑総事業

本年度は七億一千万円

明くる日 農田村をめぐって

昭和六十一年度の県営畑地帯総合土地改良事業は、八月以降の好天に恵まれて進展し、ほ場整備は一部の工区を除いて完成しました。五年目を迎えたこの事業は、皆さんの協力により昨年度で大明神、柏本、久須見の区画整理が終了するなど順調な進捗状況の中で、今年度は七億一千二十万円の事業費がつき、区画整理で五十六・九畝、基幹農道千二百八十五畝を整備しました。

ほ場整備率は
五二・一％に

農地の高度利用と省力的近代農業の推進をはかるため、村は昭和五十六年に日向平地区を皮切りに、昭和五十七年以降は県営畑地帯総合整備事業によって農地の区画整備、農道および用排水路の整備、分散農地の集団化などの事業を着々と進めています。

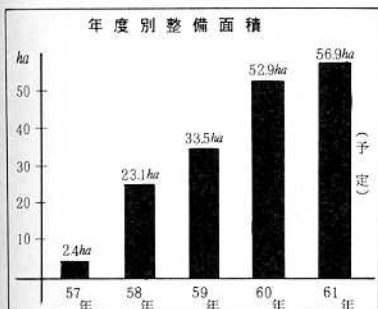
昨年度で越原上工区（大明神）五加東工区（柏本・久須見）の区画整理が完了し、今年度は東白川地区に三億七千万円、東白川二期地区に三億三千九百二

十万円、あわせて七億一千二十万円の事業費ができました。

これは、昨年の事業費に比べ三四％増となっています。その内訳を見てみますと、基幹農道で越原上工区二百畝、越原中工区四百十五畝、神土中工区六百七十畝、合計千二百八十五畝の開設を計画。

区画整理では、三年目を迎えた越原中工区で二十一畝、四年目の神土中第二工区で二十二・二畝、今年度新規に工事が始まった神土東第一工区では七・六畝、そして神土西工区で六・一畝、合計五十六・九畝を計画しそのほとんどが完了しました。本村のほ場整備は、近隣町村と比較すると大きく遅れています。

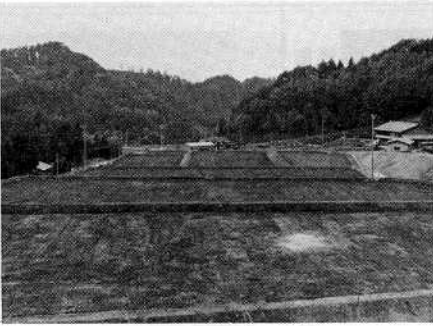
したが、昭和五十七年度着工の県営畑総事業によって年を追うごとに整備され、この計画では今年度の工事完了により五一・七％の整備済となりました。ちなみに、本村の農地面積三百四十三・三畝に対して、県営畑総事業の整備済面積百六十八・八畝と村営で行われた日向の整備面積を含めると、村全体のほ場整備率が五二・一％となり、農業生産の基盤が着実に整備されていることがわかります。



ほ場整備は「定住農村づくり」の基本

本村のほ場は年々整備され、大型機械が一つ一つの農地に入るようになります。

現状ではどうにもならない。後継者も定着しない……。こうした状態を脱脚して、トラクター、コンバインなど大型機械の導入による作業能率の向上、集団転作による大豆、飼料作物の集団作付、農地の貸し借りによる経営規模の拡大などで水田作業は、ほ場整備前と比べると四分の一の労力になるようです。余った労力を農業以外の安定



平均二十アールに整備された水田（下親田地内）

就業や新しい作目の導入などに仕向け、今まで不可能であった経営の型を新しくつくり出すことがこの県営畑総事業のねらいであり、夢でもあります。

県営畑総事業は、農地の区画を大きくし、生産性の向上を図り、農業経営を確立することが大きな目的ですが、もう一つ大きな効果があります。

それは、集落の生活環境の整備です。今までの家庭雑排水は農地に流れ込んでいました。しかも用排水は土測溝で、まがりくねっており大雨のたびに被害がでていました。

整備後は、用排水路が整備され道路もよくなりました。ほ場整備が終了した集落では、集落



四条乗用田植機は、二十アールの水田を約一時間三十分で植えます。（神付地内）

全体の環境整備が着々とすすんでいます。

明日の農業は自分の手で

県営畑総事業の子想以上の進歩に伴い、速やかに機械化営農など新しい農業に対応できる営農体形を確立しなければなりません。

東白川村土地改良区では、各工区の営農委員会や各集落の営農組合（農事改良組合）と相談し、皆さんの農家経済の現状をアンケートによって把握して新しい地域農業の振興をめざそうとしています。



ほ場整備により機械化が進み農作業も楽になりました（黒淵地内）

農家の皆さんのアイデアで「自分の農業を自分でデザインし、自分でつくる」村づくりを進めようとしています。

今年度の調査設計 八十一・六ヘクタール

ほ場整備事業は、工事の前年までに設計図を作成しなければなりません。今年度の調査設計は八十一・六ヘクタールで、次の工区で調査設計が進められています。

- ▽神土東第一工区（下親田、上親田）三〇・五ヘクタール
- 一工区（神付、中通の一部）八・一ヘクタール
- ▽越原中工区（栃山）一・九ヘクタール
- ▽越原下工区（曲坂）四・八ヘクタール
- ▽神土西工区（西洞、中谷）三二・三ヘクタール
- ▽神土東第



用水と排水が分離され集落の環境がよくなりました（黒淵地内）

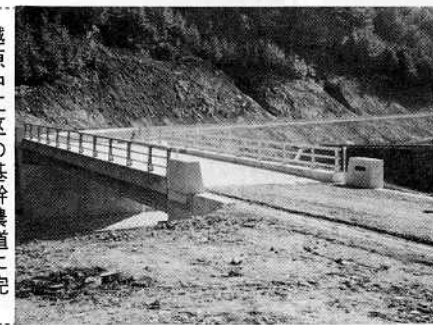
二工区（大口）五・〇ヘクタール

基幹農道

「氏神橋」が完成

昭和六十年九月から工事が進められていた黒淵の県道から大明神川を経て安江喜好さん側へ渡る基幹農道の「氏神橋」がこのほど完成し、十二月六日に越原中工区（黒淵・栃山）主催による竣工式が盛大に行われました。

この氏神橋は、県営畑総事業により施工されたもので、総工事費三千三百九十万円、橋長二十一・六メートル、有効幅員五・五メートルの立派な橋になりました。



越原中工区の基幹農道に完成した立派な氏神橋（黒淵地内）

広報でみる1991の一年

一九八六年もあとわずかで暮れようとしています。今年八年ぶりに行われた村民運動会をはじめ、待望の企業・矢崎グループの進出など明るい話題も多くありました。そして各号の表紙でかざった写真とともに広報紙で取り上げた話題を月別に追って、この一年を振り返ってみました。



節分の豆まきをする神土保育園の園児たち

- ▶ 公民館講演会「なぜ寺のない村に、廃仏毀釈とふるさと」をテーマに岐阜教育事務所一後藤時男先生が講師で五加センターと越原公民館で開催、ふるさとの歴史を学びました。
- ▶ 芸能発表会 村の文化協会に加入している五つのクラブが12の演目を披露しました。今年で10回目。
- ▶ 木造建築協同組合を創立 建築業者15人が結束し組合を設立。

2月

1月

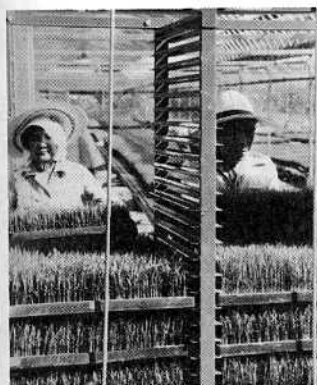
- ▶ 消防出初め式 式典は中学校体育館で行われ、防災への誓いを新たにしました。席上83人の優良団員が表彰されました。
- ▶ 成人式 新成人=73人(男34人女39人)が大人の仲間入り。
- ▶ 青年祭 村に残る青年が当面する課題を創作劇で披露。
- ▶ 広報 300号を発行 31年3月に創刊以来30年、広報紙にみる村の歩みを集。表紙デザインを変更。



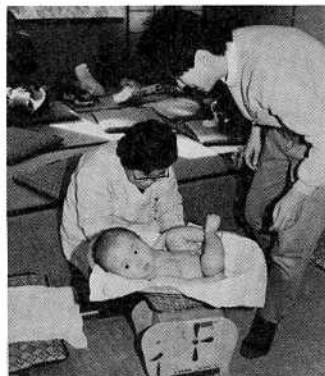
初げいこを終え、もちつきをする少年剣道クラブの子供たち

5月

- ▶ 小三地・手掛岩林道が開通 この二つの林道の接続により、森林経営はもとより利便性の高い幹線林道として期待が寄せられています。
- ▶ 夜間照明施設にコイン点灯方式 地域運動場に採用したものと同一コイン点灯装置が総合運動場にも設置されました。
- ▶ 商工会婦人部花いっぱい運動 村内6か所の施設に100鉢配置。



四月にオーブンした農協の水稲育苗施設で出荷を待つ苗



お子さんのすこやかな成長を願って 乳児検診(村民センターで)

- ▶ ふるさとの文化財を発行 教育委員会では58年11月に出した「東白川村の石造物・第一集」に続くふるさとシリーズの第二作目「ふるさとの文化財」を発行しました。写真や図表もたくさん。B5版、57ページ、1部1,000円。
- ▶ 美濃茶白川流通センターが完成 本場白川茶の円滑な流通と茶業振興の拠点施設が白川町坂ノ東に完成。荒茶集荷目標 500トン。

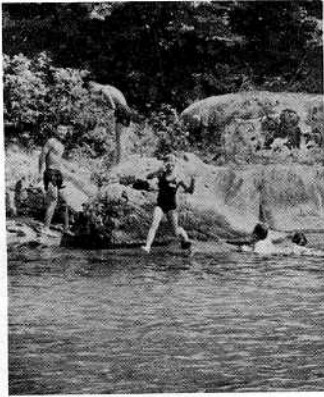
4月

3月

- ▶ ログハウスが完成 林業グループが間伐材の活用を考え、林産物共販所地内にログハウスを建設。
- ▶ 日本消防協会特別表彰「まとい」受賞披露 本村消防団が消防団へ贈られる最高位の賞である日本消防協会「まとい」を受賞、中学校体育館で披露式が行われました。
- ▶ 水稲育苗施設が完成 越原陰地地内に完成したこの施設は70ha分11,200箱の苗を生産します。



積極的に活動する黒淵の野菜出荷グループ(枝打ちをするグループ員)



八月は水の恋しい季節
水泳する子供たち

▶旧神土小さようなら会 旧神土小学校校舎取壊しにともない、歴代PTA会長らが実行委員会を組織し開催。村外に出ている卒業生にもクラス代表が連絡。村内はもちろん名古屋や東京からも大勢駆けつけました。これを最後に同校は77年の歴史に幕を閉じました。

▶産直住宅上棟式「東白川の家」の施工が決まり、建設地で第1号の柱の贈呈式が行われました。

8月



実りの秋、収穫の秋、次々と運ば
込まれる米（農協米倉庫）

▶交通法令講習会84人を表彰 道路交通法の一部改正により、11月1日からシートベルトの着用が一般道路でも義務付けられ、今年度は講習会を2回行いました。また、今年度の優良運転者84人に表彰伝達を行いました。

▶文化展と芸能発表会 クラブ員らが日ごろの活動の成果を披露。

▶明るい話題が多かった産業祭

▶岐阜部品(株)起工式

11月

7月

▶ギネスとむらおこしアイデア募集 村に明るい話題を提供し、活気を取りもどそうと「ギネス東白川何でも村一番」「むらおこしアイデアコンクール」の募集が始まりました。

▶衆・参ダブル選挙 史上2番目となった衆・参ダブル選挙は、投票率81.9%で翌日開票でした。

▶トマト選果場完成 栽培面積6ha、生産量540tを目標。



盆栽クラブ員がスズラリ
サツキの力作がズラリ



小学校五年生が学習田で田植え
を体験しました

▶青少年の主張大会 今回で8回目となった主張大会は、村民センターで開かれ小・中学生、高校生、青年団の代表12人が堂々と意見を発表しました。

▶加茂郡体育大会 本村と白川町において開かれたこの大会に、本村から9種目 170名の選手が参加。好成績を挙げました。

▶地域文庫開設 越原地域集会所と五加センターで図書の貸出開始。

6月

10月

▶第7回村民運動会 実に8年ぶりとなったこのスポーツの祭典は10月10日、体育の日に小学校運動場で開かれ、子供からお年寄りまで気軽に参加、競技、応援に楽しい1日を過ごしました。

▶待望の企業・矢崎グループが進出 村に待望の企業進出が正式決定し9月22日、現地法人「岐阜部品株式会社」を設立。就業の拡大と活性化の夢をのせ出発しました。



「東白川の家一日ご招待」予約や問い合わせをした十四家族が参加しました



九月は「老人の月」
田尻敏郎さん八十六歳
梳櫛をつくる

▶檜茶太鼓保存会の創立と組太鼓一式の購入披露式 むらおこしの太鼓として村内外の催しに積極的に参加している檜茶太鼓は保存会を創立し、寄付金を募って購入した組太鼓一式の披露を夏まつり会場で行いました。

▶郷土歌舞伎10周年記念公演

▶村民総出の清掃奉仕 明社協は各種機関や団体の協力を得て、河川の清掃を行いました。

9月

明るい話題が多かった

第七回産業祭

「実りある明日をつくろう村おこし」をテーマに第七回東白川村産業祭が十一月二十三日、村民センターと役場前広場で開かれました。

農協、商工会、森林組合、各種団体の共催で行われたこの行事には、農林商工のあらゆる分野の展示と即売コーナーが設けられ、各コーナーとも好天に恵まれたこともあって、午前九時から午後四時まで延べ二千人が繰り出しにぎわいました。

農産物品評会には、ダイコン、ニンジン、ゴボウ、大豆など五百九点が出品され、審査の結果、



野菜など5部門14点が選ばれた「ギネス東白川」村一番の認定を受けた鶏卵(写真=安江真知子さん)

一等一十六点、二等一十三点、三等一四十七点となり団体賞として、一位一神付、二位一大神、三位一柏本の各営農組合が選ばれました。また、出品された農産物は入札方式で五十円から六百円で引きとられていきました。

同会場で午後一時三十分から村の産業振興に功労のあった八名の表彰と、この産業祭の企画とあわせて「むらおこし」につながる「明るい話題づくり」を一般から募集していた「東白川の家設計コンクール」などの入選者の表彰と「ギネス東白川何

でも村一番」の第一回の発表を行いました。

たくさんの方の応募をいただいた中から厳正に審査した結果次の方々が入選、認定されました。

- ☑東白川村産業振興功労者
- ▽畜産振興一今井建夫(宮代)
- ▽産業の導入一今井幹雄(西洞)
- ▽茶業振興一栗本喜三(柏本)
- ▽養蚕振興一田口勝司(大明神)
- ▽村づくり推進活動一田口迪夫(大明神)▽木製品の生産一安江一美(上親田)▽園芸振興一安江通(日向)、同安江政二(栃山)
- ☑東白川の家設計コンクール
- ▽最優秀賞一田口建設設計事務所▽優秀賞一古田材木店、村雲建築一級建築士事務所(村雲芳樹)、伊藤建築事務所(伊藤精治)▽デザイン賞一今井久喜▽入選一伊藤建築事務所(伊藤精治)、今井久喜、岡建築(村雲久夫)、安江一郎、安江建築(安江茂)、木村建設株式会社設計事務所
- ☑村づくりアイデアコンクール
- 村雲義英(中谷)一白川河畔に自然を生かした河川公園を建

設し、観光客の誘致を図り地場産品の販売や就業の場を提供することにより村の活性化を図る。

産業祭標語

- ▽入選一実りある明日をつくろう村おこし(安江光子、黒淵)
- ▽佳作一感じます未来の風育てますみんなの産業(安江良浩、下親田)、知恵と創造力が生みだす村おこし(沢木希江、平)
- ☑夏休みに蚕を飼おう作品展
- ▽大会長賞一安倍輝(西洞)▽可茂農事務所長賞一今井宏和(宮代)▽加茂郡市養連会長賞一安江監(神付)▽岐阜日日新聞賞一今井友樹(柏本)▽農協組合長賞一今井小百美(西洞)▽養蚕組合長賞一安江妙子(中谷)
- ☑ギネス東白川何でも村一番
- ▽岩ひび一幅九十センチ(田口正直)▽やまゆり一花四十一個(今井光彦)▽うなぎ一六センチ(熊崎進)▽きゆうり一八百二十四センチ(藤井たえ)▽こんにやく一・八五センチ(村雲文雄)▽くり一四十八センチ(藤井たえ)▽鮎一二百五十センチ(安江康助)▽さつまいも一・六四五センチ(松岡進)▽にんじん一六百六十センチ(村雲かな)▽大根一五・七五センチ(河田利貞)▽なます一九百八十センチ(大坪勇司)▽へちま一・六五センチ(安江辰也)▽じゃがいも一八百二十センチ(安江只文)▽鶏卵一一百センチ(安江成喜)

けいせい

戸籍の窓 十一月一敬称略



誕生おめでとう
ございます

- (大口) 安江 正孝 拓也(長男)
- (久須見) 古田啓治郎 奨(長男)
- (平) 中島 清彦 重子(長男)
- (神付) 安江 清彦 佳美(長女)
- (黒淵) 安江 一英 恒子(長女)
- (下親田) 安江 義文 利江子(長女)
- (下親田) 安江 由美子 雅人(長男)
- (平) 今井 克次 洋子(長女)
- (平) 今井 知子 耕平(二男)



いつまでも
おしあわせに

- 安江 道雄(宮代)
- 今井千佐子(大沢)
- 佐伯 達夫(川辺町)
- 田口 峰子(平)
- 安江 光行(中通)
- 苅田喜美子(曲坂)

ス ポ ー ツ の 話 題

秋の夜長を 86'ウォークラリー

十一月十五日、村民センターを発着点にして、二回目のウォークラリーを神土平周辺コースで行いました。

「ウォークラリー」は、歩け歩け大会やオリエンテーリングのように主に野外で行うゲームで、この日は十組、約四十人が参加しました。

受け付けのあと、体育指導委員からゲームの概要、コース、課題などの説明を聞き、午後七時五十分第一組から一分間隔で次々にスタートしていきました。コースは、全長二・五キロ。途中で設けられた六つの課題とその場をよく記憶していき、後に出される問題に答える観察



ウォークラリーに家族で、グループで挑む参加者たち

インの課題二つ。それに、このコースを一周するためにかかる時間があらかじめ定められ、その規定時間にどれだけ近くゴールするかを競うタイムに挑戦しました。

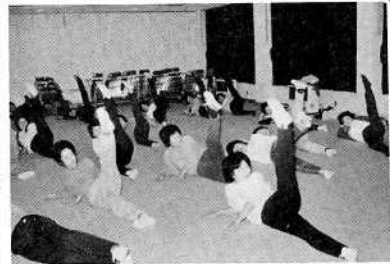
初めて参加した人には最初不安もあったようですが、だれでも楽しめる簡単なゲームで、つい「楽しくて無中になっていった」ほどでした。また、途中の課題を解こうとしてタヌキに出合うハプニングもあり、なかなか好評でした。

ゴール地点でもう一度答えを確認してからチェックを済ませ審査結果を待ちました。秋の夜長を家族そろって、またグループみんなで楽しむことができました。

軽い音楽にあわせ てイチ・ニ・サン

十一月十四日、中学校体育館で健康体操講習会を開きました。講習会には、体育指導委員のほか、婦人会各支部などから五十人余りが参加しました。

昨年まで普及してきた、いつでもどこでも簡単にできるストレッチ体操に加え、この講習会には、小学校が夏休みに有線放



リズム体操を楽しむ参加者たち (越原センターで)

送を利用して行っている親子体操のように、軽快な音楽に合わせて、手や足、全身を動かすリズム体操を取り入れた内容でした。

このような健康体操は、わずかな自由時間が持てる人であれば、だれでも始めることができ、こういう機会に積極的に参加して、家庭でできる健康体力つくりを身につけたいものです。

参加者は、指導者の動きを目で追いつながり心地よい疲労感を味わっていました。

第六回村民 バドミントン大会

十一月十三日、小学校体育館において第六回村民バドミントン大会が開かれました。

この大会は、体育協会が主催



バドミントン大会上位入賞者たち (小学校体育館で)

して行ったもので、種目の紹介と村内の皆さんの体位向上を目的に毎年開かれています。

今年も、十二組(二十四人)の参加があり、くじでペアと試合順序を決め、三チームずつが四ブロックに分かれてリーグ戦を行いました。

リーグ戦は、三チーム一ブロックで総当たりを行い、どのチームも最低二試合はできるよう工夫されていました。

ブロック一位のチームが対戦する決勝トーナメントの前に、裏方を務めたバドミントン部から新しいスポーツ「バドテニス」を紹介するアトラクションも企画されていました。

大会の参加者は、みな満足顔で、一部の人たちからは「冬場に向けて続けていこうか」と話し合いもされていました。

- 古田 俊之(柏本)
- 熊崎 竜子(白川町)
- 桂川 公幸(大明神)
- 安江 孝枝(陰地)



おくやみ
申しあげます

■工事入札結果の公表

- ①は入札期日②は落札金額
および落札業者③は指名業者
- ◇神土角領線道路災害復旧
①十一月六日②九十七万円
―新田建設③村内五社
- ◇境谷河川災害復旧工事
①十一月六日②百六十八万円
―(株)マルト土木③村内五社
- ◇外出線道路災害復旧工事
①十一月六日②七十九万円
―新田建設③村内六社
- ◇柏本東線道路災害復旧工事
①十一月六日②五十七万円
―東濃重機建設③村内六社
- ◇前山線道路災害復旧工事
①十一月六日②八十五万円
―山田土建③村内六社
- ◇杉谷河川災害復旧工事
①十一月六日②四十八万円
―(株)立保土木③村内六社

同和学習コーナー

②

『同和』のもつ意味

私たちは、だれもみな平和で豊かな生活を願ひ、幸せで健康に生きる権利を持っています。こうした願いや権利は、基本的人権といふ憲法で保障されている民主主義の基本です。ところがこの権利が差別という行為のため踏みじられることがあるのです。私たちの身の周りにもいろいろな差別が起こっています。この機会に同和問題を正しく理解し、差別のない明るい社会をつくるため、みんなで考え話し合ってみましょう。

「同和」ということは、明治から大正にかけて、国民の和を願ってよく使われた「同胞一和」の略語です。したがって「同和」ということばの意味は「みんなが仲よくし合う」ということで、人間尊重の精神が、この短いことばの中にこめられています。

同和ということばが、部落問題の解決を内容とすることばとして、広く使われるようになったのは、昭和に入ってからです。部落差別をしない、そして許さない、こうした人間づくりをめ

9月22日村民センターで全国自由同和会、花井副会長を講師に同和研修会が開かれました



ざす教育を「同和教育」と称したことがはじまりのようです。現在の日本の国にある部落問題の解決を内容とした施策や教育などを「同和」ということばで表わしています。



小学生が学んでいる 同和問題

— 六年生の教科書から —

○歴史—江戸時代の「士農工商」の項

幕府は、人々を武士と農民、町人の身分に分け、これらの身分は、親から子へと代々受けつがれるものとなりました。そして、武士は武士、農民は農民として

一生をおくるのがよいことであるとしました。

このほか、幕府は農民や町人より低い身分を定めました。これは、農民たちが幕府や武士に不満をいだいても「自分たちよりもっとみじめな人々がいるからがまんしよう」とあきらめさせるのに役立ちました。

○江戸時代—「農民や町人のくらし」の項

いっぽう農民や町人より低い身分とされた人々は、幕府や大名によって、川原などの条件のわるい場所にまとめて住まわされ、仕事も限られました。また、ほかの人々と対等につきあうこともゆるされませんでした。

○明治維新をすすめた人々「四民平等」の項

藩を廃止した政府は、天皇の下に国民を一つにまとめようとしました。士農工商の身分制度をやめ、農工商の人々もみょう字を名のり、職業や住む場所を自由に選べることにしました。これを四民平等といいました。

いちばん低い身分におかれていた人々も、農工商と同じ平民とされ、国民としての義務をあらたに負うことになりました。しかし政府が、その人々のじつさいの生活を改善する努力をおこなわなかったこともあって、差別はなかなか改まりませんでした。

また、天皇の一族は皇族、公家や大名は華族、武士は士族、そのほかは平民とされ、身分のちがいは別の形で残りました。

○戦後の新しい日本—「日本の課題」の項

工業のきゅうげきな発展は、各地で公害などをひきおこし、生活環境をはかいするようになりました。このことは、ものがいくら豊かになっても、それだけでは、人間としてのほんとうの幸せにはならないのだということ、わたしたちにしみじみ教えてくれています。

また、社会の発展のかけにとり残されて、苦しい生活をおくる人々は少なくありません。同じ人間として平等にあつかわれず、差別を受けて苦しんでいる人々も残されています。

以上は、社会科の教科書の記述からですが、同和問題は、すべての教育活動において、あらゆる機会と場を通じて学習しています。また、子供の身近な問題を基本的な差別の問題について考え、深い態度を養成することに努めています。

要は、喜び、苦しみ、悩みを分かち合い、助け合い、励まし合う豊かな温かい心を育て、人の心の痛みを感じる人間に育ってほしいものです。

今日も元気で!

目覚めから睡眠まで

ることです。正常な眠りには、浅い眠りと深い眠りのリズムがありますが、深い眠りの時間は意外に短く、八時間の睡眠中のほんの一時間足らずです。効果的な睡眠を得るためには、午前二時ごろに深い眠りに入る工夫をすることです。

仕事から夜働かなければならない人は、昼間に睡眠を取らなければならぬのですから、睡眠時間を多くする必要があります。また、少しでも効果を高めるために、部屋を暗くして、静かに目を閉じ、横になっている時間を長めに取る工夫をしてください。



眠りのパターンを知ろう

人によって寝つきのよい人と悪い人がいます。寝つきが悪いといわれる人は、就寝後間もなく深い眠りに入ることができませんが、必ずしもこの深い眠りが朝まで続いているわけではありません。

一方、寝つきが悪いと嘆きながら、けつこう朝の目覚めのよ

い人は、深い眠りに入るまでに時間はかかってもしっかり近づくになると、深い眠りを十分取っているものです。このように、眠りのパターンも色々ありますから、自分の睡眠のパターンを知っておけば、「快眠」を得る方策を見つけ出すのは、決して難しいことではありません。

どんなに「素晴らしい夢」でも目がさめても記憶に残る「夢」を見たときは「快眠」とはいえません。

寝室の環境を工夫

心地よい睡眠を得るためには、寝室の環境を考えることも大切です。

フutonやベッドが軟らか過ぎると「快眠」が得られないように、枕の高さや硬さ、そして寝室の暗さや静けさ、そして温度なども、睡眠に大きな影響を与えます。

また、寝間着はゆったりとして吸湿性の高いものを選び、昼間の下着は寝るときにはすべて取り替えてください。

目覚めが悪い、寝つきが悪いからといって、すぐに睡眠薬に頼るのは問題です。毎日のことだけに、一度「薬」に頼ると毎晩「薬」を飲まなければならぬ

檜茶太鼓購入事業決算書

科目	金額	備考
募金収入	3,049,650	339人、14団体
村補助金	700,000	
雑収入	2,109	預金利息
合計	3,751,759	

(支出)

太鼓購入費	2,997,260	太鼓一式、桶胴檜材料
その他備品	148,000	ハッピー15着
基金募集経費	107,370	郵便料、折込印刷費他
作調指導料	410,000	5曲作調指導料(関刀鼓先生)
その他諸費	60,630	入魂式、発会式
合計	3,723,260	

差引残金28,499円は、檜茶太鼓年間活動事業予算に繰り入れいたします。

今年の四月に自前の太鼓購入をめざして後援会が発足し、皆さん方に寄付金を募ったところ村内外多数の方から三百四万九千余円にのぼる多額の基金が寄せられました。村から七十万円

の助成を加え、組太鼓一式と衣装等が揃い役員会で太鼓購入事業の決算が左記のとおり承認されましたのでお知らせします。八月十四日のふる里夏まつりで保存会が正式発足し、以後村内の催事のほか、関百年公園祭

檜茶太鼓購入決算と 保存会員の一般募集

三越物産展、木造住宅上棟式な

ご寄付をいただいた方へのお礼です……。」と語っておられ、毎週水曜日に木材市場管理棟で定期練習が開かれていますので、皆さんも気軽にご参加ください。

どに出演し、檜とお茶のふる里東白川村の宣伝に精力的な活動を行ってききました。

現在保存会員は一般中学生を合わせ二十四名ですが、保存会長の今井邦光さんは「みんなで作る太鼓を揃えていただいて本当にありがたいことです。多くの人に使っていただき郷土の芸能として後世に伝えることが

お知らせ



工業統計調査 にご協力を

通商産業省では、昭和六十一年の「工業統計調査」と「石油等消費構造統計調査」を十二月三十一日現在で行います。調査の対象となる製造業を営む事業所には、年末から一月にかけて調査員が伺います。

この調査の対象となる事業所は、次のとおりです。

【工業統計調査】製造業を営むすべての事業所

【石油等消費構造統計調査】工業統計調査対象事業所のうち従業員が三十人以上のすべての事業所

【岐阜県輸出関係調査】工業統計調査対象事業所のうち、従業員四人以上で輸出向け製品を製造・加工しているすべての事業所

年末年始の多忙な時期に当たりますが、調査員が各事業所に伺いますので、ご協力をお願い

浄化槽を適正に 管理しましょう

現在、県内には約十二万基の浄化槽が設置されています。浄化槽は適正な維持管理を怠ると、し尿などの適正な処理ができなくなり、公共水域などの環境汚染の原因となります。

このため、浄化槽の管理には保守点検や清掃、定期検査が義務付けられています。一般家庭の浄化槽の場合には、年二回から四回以上の保守点検が必要です。また、全ばつ気方式の浄化槽はおおむね六か月ごとに一回以上、その他の浄化槽は年一回清掃を行わなければなりません。

さらに定期検査として、知事の指定する検査機関で年一回、水質・機能に関する検査を受けなければなりません。現在(助)岐阜県公衆衛生検査センターがその業務を実施しています。

浄化槽の管理者は、適正な維

持管理を行い、環境汚染を未然に防ぎましょう。

個人事業を開業 したら届出を

個人が新規に事業を開始したり、または事業所の新設、移転、廃止をしたときは、その事実があった日から一か月以内に「個人事業の開業等届出書」を納税地の所轄税務署長に提出しなければならぬことになっていきます。

なお、この届出書の用紙は税務署、役場税務係、商工会に用意してありますからご利用ください。

12月1日から

新制度がスタート

中小企業退職金共済

中小企業の勤労者にも、大企業と同じように退職金を——というのを目的にした中小企業退職金(中退金)共済制度が次のように改正され、十二月一日からスタートしました。

今まで以上に魅力を増し、事業主と勤労者の双方に有利なこの新しい制度をご利用ください。

【主な改正点】◎掛け金の負担が軽くなります。▽十二月一日

ご協力ありがとうございました

赤い羽根共同募金

この十月に展開された昭和六十一年度赤い羽根共同募金運動は、目標額の三十万円を超えて三十三万九千二百五十八円となりました。

以降に新たにこの制度に加入する事業主に、国が掛け金の三分の一を二年間負担します。▽掛け金月額を増額する事業主に、国が増額分の三分の一を一年間負担します。

◎掛け金月額の最高が二万円になりました。▽最低千二百円が三千元に、最高一万六千円が二

万円に引き上げられました。

◎掛け金納付月数の企業間通算制度が拡充されました。▽納付実績を新しい契約に通算することができま

詳しくは、県庁労政課か金融機関、または中退金退職金相談コーナー ☎〇五二一六八一—八九五一番へお尋ねください。

「モノ」が家の中にあふれ、必要なものはほとんどそろうようになりました。「モノ」に充足した人々は今、「ココロ」の充足へと方向を変えはじめたといわれます。

募金することによって幸せをわかちあう「ココロ」を大切にしたいものです。

昭和61年度赤い羽根共同募金結果

集落名	募金額	集落名	募金額
大口	6,200	黒淵	12,900
平	55,500	大明神	21,000
下親田	10,900	越原計	102,438
上親田	18,200	柏本	18,400
中通	16,900	宮代	7,200
神付	14,000	大沢	12,000
中谷	7,200	下野	6,900
加舎尾	6,600	久須見	3,500
西洞	10,500	五加計	48,000
神土計	146,000	村職員募金	22,742
曲坂	7,500	個人大口募金	18,000
日向	19,200	役場窓口	2,078
陰地	33,238	小計	42,820
栲山	8,600	合計	339,258

今月の図書



四季の夢

円地 文子著

美しい三姉妹が誠実さゆえに陥った愛と性の落とし穴。呉服問屋に嫁ぎ、2児の母として生きながら、女としての人生を歩む祥子。

2人の妹優子と志賀子のそれぞれの人生。女流文学の第一人者で今は亡き円地文子が描く官能とモラルの長編小説。冬の一夜コタツに入りながらふと手にしてみたいくなるのが、この一冊ではないでしょうか。

幸福みえますか

正司 歌江著

14歳でヒロポンの味を知ってから、魔の誘惑を断ち切って新しい人生に踏み出すまでの、傷だらけの青春。夫が子育て、妻が仕事のアベコベ夫婦。

「かしまし娘」としての人気を集め、人々の心にやすらぎと、希望を与えてくれた人歌江さんの真剣勝負の人生をユニークなタッチで読者の心に語りかけてくれます。もし「私たち夫婦は空気みたいな関係よ」などという人があるならば、是非この本を読んで今一度じっくり幸福の意味を考えてみてください。

ふるさとの花 ⑫

センブリ (千振)



センブリは、日当たりのよい山野に見られるリンドウ科の二年草です。茎の高さは一〇〜二五センチで、直立して枝分かれます。秋、枝先に白い小さな五弁の花が群がり咲きます。この花をよく見ると花弁に紫

の条線があります。センブリは、熱湯の中で千度振り出しても、なお苦味が残るといふ意味で名付けられたもので、生薬名を「当薬」といい、方言にクスリクサ、ニガクサなどがあります。センブリは、日本の民間薬の中でも最もよく知られており、実物を知らない人でもその名を聞けば、「苦い」とすぐ思い出すほどです。花の咲く時期に根ごと抜きとり、日干しにして保存します。熱湯の中に浸し、その湯を服用して健胃剤とするのですが、その服み方を「振り出す」といいます。

このセンブリ、古い時代にはのみや虱を殺す殺虫剤でした。「和漢三才図会」には、「当薬で子供の肌着を黄色に染めて、のみ、虱から守る」とあるようですし、具原益軒は「大和本草」で、「糊に当薬の煮汁を入れて裏打ちし、障風を張れば、虫はわかない」と教えています。「千振」は俳句の季語となっていますが、関係する季語に次のようなものがあります。

当薬、千振引く、千振探る、当薬引く、千振干す



センブリの仲間には、花が紫色のムラサキセンブリ(紫千振)苦味のまったくないイヌセンブリ(犬千振)、明け方の空を彩る花の色と、花弁についた細点を晩の星に見立てたアケボノソウ(曙草)、アケボノソウによく似たシノメソウ(東雲草)などがあります。東白川村にはどこにでもあったセンブリですが、最近ではあまり見られなくなり、残念なこと

今月の料理



ダイズだんごの煮合わせ

【材料】六人分 ゆでたダイズカップ一杯半、ブタひき肉百五十g、ネギ半本、卵一個、青菜三百g、だし汁カップ三杯、調味料、揚げ油

【作り方】①ゆでたダイズは汁を切って熱いうちにすり鉢に入れ、塩、しょうゆ各少々をふって粗くつきつぶす。

②つぶしたダイズを冷まし、ひき肉とみじん切りしたネギ、卵を加えてすり合わせ、小麦粉大さじ三杯ほど入れて混ぜる。

③中温に熱した揚げ油に②をスプーンですくい入れ、返しながら表面がからっとするまで揚げる。

④だし汁を煮たて、酒大さじ二杯、しょうゆ小さじ二杯、塩小さじ半杯で調味し、揚げただんごを加えて十分ほど煮る。

ゆでて切りそろえた青菜を鍋端に入れ、さっと煮る。

みんなの期待と夢をのせていよいよ岐阜部品本社工場が起工しました—起工を祝う関係者

祝 岐阜部品株式会社本社工場起工

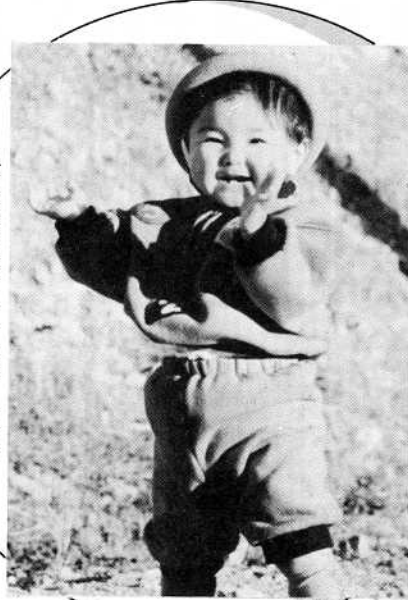


就業拡大と 活性化の夢のせて 岐阜部品本社工場起工式

カメラ
の目

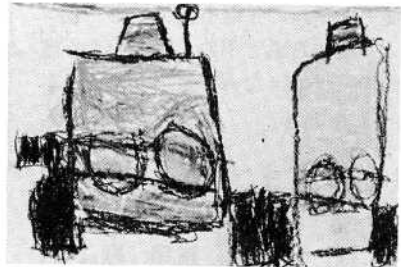
自動車部品メーカーの矢崎総業を核とする矢崎グループの岐阜部品(石井孝之社長)本社工場の起工式が、11月22日越原曲坂の建設地で行われました。この本社工場は敷地面積27,171㎡、鉄骨平屋建てで工場棟、事務所、厚生棟、機械室など合わせて5,883㎡が予定され、完成は来年2月末で総工費は4億1,500万円となっています。

設計は(株)青島設計、施工は(株)熊谷組で第三セクター(株)東白川が建設し、岐阜部品に賃貸するシステムとなっています。



安江真衣ちゃん(一歳)柏本道和さん・はるみさん長女

すくすく育て



子供の作品

きゆうきゆうしやと
しょうぼうしや
たぐちまさし(四歳)神付
神土保育園



あなたの作品をお寄せください。
・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。
・毎月20日までに、神土伊藤重雄宛に出してください。

- 北風は雨を呼ぶとか秋更けて裏木曾山に昏き日続く
- 山仕事無事に終へたる慰勞とて仲間と食ぶる鱈の塩焼き
- ガラス越しに夕日は落ちて紅葉せし野山はひとときセビヤ色なり
- 金欄の打掛は肩を外れそなか細き孫の花嫁すがたよ
- 初金星得たる力士のインタビュ控え目にして未だ息弾む
- ビニールのひご作りする夜仕事の部屋に漂ふ木屋の香は
- 初冬の満月の面よりゆく羊の群のごとき白雲
- 小春日はのがすことなく大根引き浅漬にすと塩に預くる
- U字溝の水は速まり落葉のせかすかな弛みによどみては流るる
- 足もとへ風に吹かれて絡みくる落葉の枯れも晩秋の冷えに
- 招かれし孫の結婚式厳かに古式床しく高砂殿にて
- 秋風に逆らふ如く向ひ家の風鈴しきりにせわしく鳴れり
- 木枯にうつろになりし思ひ出は母の面浮びやさしく説きぬ
- 柿剥きつつ孤り思ふに嫁ぎ来てもう六度目が過ぎし日は早く
- 幾年月の祝儀の貼り紙なほ残り確かと建ちたり村国座ここに
- 背高あわ立ち草すでに日本に住み馴れて休耕田に黄花誇る
- 豆を乾す腕を休めて見上ぐればお日様と雲が小走りにゆく
- 日溜りに置きし小菊は咲きさかりまぐれ蜂ちが花にまつわる
- 秋風に三河の海は波静か橋も鳥居も潮に濡れるて
- 海溝にほど近きらし三保の浜小砂利つづきて砂も貝も見ず
-
- 三代の政治の思も災ひも知りて来しゆえ今を恐るる

- 田口 巽午
- 安江 香
- 小林 道子
- 安江 幸
- 今井 良吉
- 村雲 うめ
- 今井 かな
- 安江とし子
- 早瀬 勇造
- 安江 竜玉
- 安江 節子
- 安江 守平
- 早瀬 久子
- 小池 弘子
- 伊藤 美枝
- 今井 弘恵
- 田口 一枝
- 三戸 きり
- 伊藤 重雄
- 田口 良三